

大会名	第72回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会				チーム名	1Q	2Q	3Q	4Q	延長	合計
期日	H30.6.2	会場	TKOいちごアリーナ	試合No.	八王子	31	24	31	26		112
審判	(主) 岡崎 武史	(副) 廣瀬 俊昭	一色 渉	A 6	横浜清風高等学校	12	19	23	23		77

八王子学園八王子高等学校(東京)

コーチ 石川 淳一 A・コーチ 伊東 純希 マネジャー

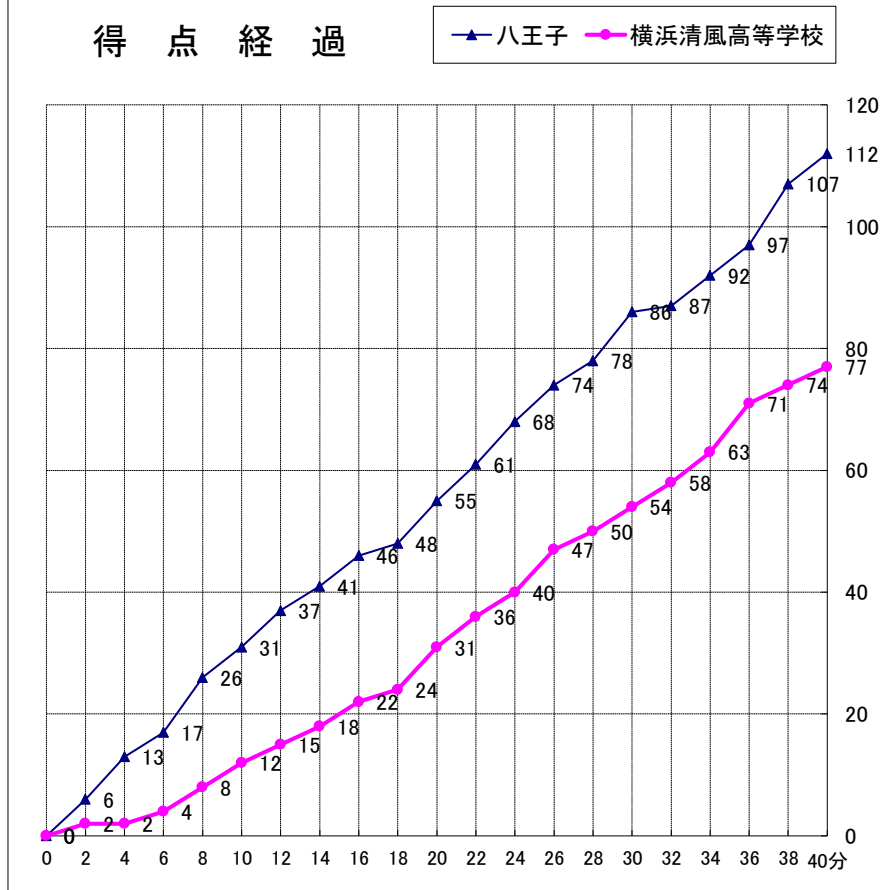
選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
遠藤 涼真	5	11	0	0	4	5	3	3	0	0	5	5
半田 雄資	6	4	0	1	2	3	0	0	0	0	2	2
ウスマヌ ジャ	7	10	0	0	3	10	4	8	1	2	9	11
草木 惠翔	9	1	0	1	0	5	1	1	0	0	0	0
石川 竜生	10	1	0	1	0	5	1	1	1	6	3	9
鴫田 風真	11	9	1	1	2	5	2	2	0	0	0	0
木村 圭吾	12	18	0	2	8	17	2	2	0	3	1	4
箭内 貴太	13	7	1	3	2	2	0	0	0	0	0	0
野村 弘樹	14	7	1	5	1	2	2	2	0	1	0	1
ハバカル アイダラ ジャロ	15	8	0	0	4	6	0	0	1	2	10	12
葉山 郷	16	2	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0
攪上 颯斗	19	22	6	11	1	5	2	2	0	2	4	6
青山 明	20	10	0	0	5	6	0	0	0	3	1	4
川畑 輝	21	2	0	1	0	1	2	2	3	0	2	2
内田 尚人	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
チーム合計		112	9	27	33	73	19	23	6	21	41	62
成功率			33.3%		45.2%		82.6%					

横浜清風高等学校(神奈川)

コーチ 三宅 学 A・コーチ 城下 啓美 マネジャー 薄井 隆法

選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
村井 和雅	18	7	1	3	2	2	0	0	0	0	1	1
戸田 健太	22	16	1	4	6	17	1	2	2	0	4	4
小野 優作	10	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0
長谷川 研四郎	11	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1
クーリバリ ソロモン	13	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
西田 俊介	14	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	3
二宮 力	15	6	0	1	3	7	0	0	2	0	5	5
高井 翔太	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
渡辺 マイルズ	21	0	0	0	0	3	0	0	1	3	3	6
中村 峻輔	23	25	3	10	6	20	4	7	2	2	2	4
須藤 タイレル拓	6	15	1	2	6	9	0	0	3	1	0	1
谷口 颯	28											
榊 拳士朗	31											
金子 歩夢	00	8	0	0	3	7	2	2	5	2	1	3
湊 慎之亮	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
チーム合計		77	6	21	26	68	7	11	19	14	19	33
成功率			28.6%		38.2%		63.6%					

得点経過



戦評

二回戦、強力な高さを持ちつつも走るバスケットで勝ち上がった八王子と、小柄ながらも高い身体能力と身体を張るディフェンスで、初戦を逆転勝利で駒を進めてきた横浜清風の戦。ディフェンスは、八王子はハーフマンツ、横浜清風はオールマンツでスタート。序盤から八王子が、#5半田と#15ハバカルのゴール下、#11 鷗田の3Pで横浜清風を圧倒。途中、横浜清風がディフェンスをゾーンに変えるが、すかさず八王子#19攪上 が#3Pで対応。横浜清風は#23中村が1対1でチームを引っ張るが、31対12での19点差で第1ピリオドを終えるかたちとなった。第2ピリオド、横浜清風は#22戸田、#23中村の3Pで巻き返しを図る。対する八王子は、#7ウスマスのインサイドで確実にポイントを奪った。横浜清風は、ディフェンスを3コーターからのプレスに変え、#6須藤、#22戸田がゴールに迫るが、点差は縮まらず55対31で八王子リードで前半を終えた。後半、横浜清風#23中村の3P、#15二宮のドライブで勢いに乗ろうとするが、八王子#19攪上 が3Pを沈めて横浜清風の追撃を許さない。横浜清風#00金子、#15二宮が思い切り身体を張ってゴールを守るが、八王子がパワーでシュートをねじ込む。横浜清風#6が高い身体能力を生かしたドライブでシュートを成功させるが、86対54と点差は広がり、最終ピリオドを迎える。横浜清風はオールコートでスティールを狙いながら逆転のチャンスがうかがうが、八王子が冷静にボール運び、ゴール下に繋げる。横浜清風は最後までオールコートディフェンスで仕掛け、脚を使って得点を狙ったが、八王子のパワーがそれを上回った。小さくてもビックマン相手に怯むことなく、最後の最後まで挑み続けた横浜清風の選手たちにも心からの拍手を送りたい。

記入者 小山 幸広